



Biz
御仕事

Eco

“恵呼化”

Models

見本帖

平成 29 年度

地球温暖化配慮行動の
主な取組み事例集

千代田区温暖化配慮行動計画書制度



目次

制度概要と経緯	3
受賞事業所	4
●最優秀賞 三菱地所株式会社	4
●優秀賞 株式会社大塚商会	6
●特別賞 三井住友海上火災保険株式会社	7
●環境配慮賞 NECネットエスアイ・サービス株式会社	8
平成29年度 提出事業所	9
応募企業35社の「わが社のECO自慢」	10
主な取組み事例	14
区の主な施策	15
大学生が作るページ この取組みがすごい!	16
地球温暖化対策 ビル設備改善からアプローチ ここがキーポイント!!	24
一般社団法人「千代田エコシステム推進協議会」のご紹介	30
千代田エコシステムクラスⅢ(監査・認証)導入について	31
(一社)千代田エコシステム推進協議会 会員募集	32

ご挨拶

この事例集は、
千代田区、区内在学大学生との
協働により作成しました。

制度概要と経緯

千代田区は、平成20年1月、「2020年までに区内のCO₂排出量を1990年比で25%削減する」という目標を定めた「千代田区地球温暖化対策条例」を施行しました。また、平成21年1月には国から「環境モデル都市」に選定されました。

業務機能が集中している千代田区は、CO₂排出量の76%（2015年度）を、オフィスを中心とする業務部門が占めているため、業務部門のCO₂をいかに削減するかが課題となっています。

そこで区は、事業所の省エネ対策（ハード面）を推進するとともに、事業所が日頃から実践している環境配慮の取組み（ソフト面）をさらに進めるために、行動する「人づくり」として「千代田区温暖化配慮行動計画書制度」を平成23年度から導入しました。

この制度は、区内の各事業所が取り組んでいる「環境活動」「環境教育」「地域貢献」などの温暖化配慮行動について、その実施状況や計画を毎年、区へ報告していただくもので、今年度は264事業所から提出がありました。

他の模範となる取組みを実施した事業所を表彰します！

区は、提出のあった事業所のうち、優良な取組みを表彰し、取組み状況を公表することにより、事業所の温暖化配慮行動の促進や優良な取組みの普及を図ります。（公表は、提出のあった事業所名のほか、取組み事例を掲載します。）

▶詳しくは下記のHPを検索してください。

千代田区温暖化配慮行動計画書制度

検索

千代田区地球温暖化対策推進懇談会

千代田区地球温暖化対策条例第21条第2項に基づき区民、事業者、地球温暖化対策に関する識見を有する者で構成された、区の地球温暖化対策に関する意見を聞くための組織です。

*本制度の表彰事業所を審査し、選定しています。

表彰種別

最優秀賞……省エネ、環境教育、地域貢献の取組みにおいて、最も優良な取組みを実施した事業所。[対象：義務提出事業所]

優秀賞……省エネ、環境教育、地域貢献の取組みにおいて、優良な取組みを実施した事業所。[対象：義務提出事業所]

特別賞……他の模範となるユニークな取組みを実施した事業所。[対象：義務提出事業所・任意提出事業所]

環境配慮賞……優良な取組みを実施した事業所。[対象：任意提出事業所]

●義務提出事業所：従業員数300人以上の事業所（特定事業所）

●任意提出事業所：従業員数300人未満の事業所

[書類の作成方法および提出方法] ▶詳しくは下記のHPを検索してください。

計画書兼報告書の作成・提出

検索

[提出期限] 毎年8月末日

過去の受賞事業所一覧

平成27年度からの賞一覧	平成28年度 表彰	平成27年度 表彰	平成28年度までの賞一覧	平成26年度 表彰	平成25年度 表彰
最優秀賞	富士ソフト株式会社	三井住友海上火災保険株式会社	最優秀賞	株式会社みずほ銀行	三菱地所株式会社
優秀賞	日本製紙株式会社	東京センチュリーリース株式会社	省エネルギー部門賞	旭化成株式会社	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
-	-	-	環境教育部門賞	三菱地所株式会社	前田建設工業株式会社
-	-	-	地域貢献部門賞	山崎製パン株式会社	三菱UFJニコス株式会社
特別賞	旭硝子株式会社、川崎汽船株式会社、KDDI株式会社、新日鐵住金株式会社、株式会社帝国ホテル、日本大学病院、三菱地所株式会社	株式会社大塚商会	特別賞	該当なし	該当なし
環境配慮賞	株式会社日清製粉グループ本社	日本経済新聞株式会社	環境配慮賞	三幸株式会社	ルネサスエレクトロニクス販売株式会社
総提出事業所数	247	249	総提出事業所数	187	173

最優秀
賞

三菱地所株式会社

[所在地] 大手町1-1-1

左：三菱地所プロパティマネジメント株式会社
常務・S C運営統括部長
山口 典文 氏
中：環境・CSR推進部長
菊川 嘉彦 氏
右：千代田区長 石川 雅己



省エネ



▲三菱一号館美術館



▲三菱一号館美術館の展示室内。全てLED化している

三菱一号館美術館 展示室照明のLED化

展示室全体の消費量の大幅な削減(40.25KW⇒6.9KW)を達成。また、光源からの発熱量が少ないことによる空調負荷の削減、ランプの長寿命化による作業負荷の軽減といった効果にも繋がっている。

学生の感想

日本大学経済学部1年 山田 姿姫

こちらは、街づくりを通して様々な社会貢献をしている企業です。私は、使用後に容器表面のフィルムを剥がす「P & Pリリパック容器」を使用した「エコ弁」に興味を持ちました。利用することによりCO₂の削減・ゴミの削減など環境負荷軽減の効果があります。

他に浄化施設を備えた大手門タワー・J Xビルでは皇居外苑湧水の水质を改善させることに成功した事例もあります。

社会をリードする企業が様々な取り組みをして事例を示すことで環境の輪が広がればと思います。

居心地の良い街と環境とは切り離せないものです。ティヘロッパーという分野の特性を活かし公共の保全という大きな取り組みをすることは社会を動かす魅力のあることだと思いました。

環境教育



▲研修における除伐体験

各種環境教育および啓発活動の実施

- ① グループ会社共同の新入社員研修における環境教育の実施
- ② 環境・CSR協議会、環境推進連絡会(年2回)を開催し自社の環境取組みに関して情報共有
- ③ 環境への取組みリーフレットの配布
- ④ 環境eラーニングの実施など

環境月間、CSR推進月間の開催

毎年6月を環境月間として、社員向けに様々な啓発イベントを開催。期間中、環境研修(外部より講師を招聘)などを開催。毎年10月には、CSR推進月間として、他社施設の見学会を実施。



株式会社大塚商会

[所在地] 飯田橋2-18-4



左：社長室 環境・社会員副課 課長
村中 長守 氏
中：経営管理本部・取締役常務執行役員
森谷 紀彦 氏
右：千代田区長 石川 雅己

省エネ

電力使用量の削減 電力リアルタイム使用の見える化

本社1F受付横に電光掲示板を設置し、リアルタイムの使用量を常に表示。また、ホームページ上にもリアルタイムで公開し、節電意識向上を推進。

エコパトロールで節電を徹底

エコパトロールを実施し、OA機器の節電モードの設定や、離席時の電源OFF等をチェック。未実施者にはイエローカードやレッドカードを発行し、定着を図る。

環境教育

環境eラーニングの実施

PCを使った独自学習による環境eラーニングを実施。テストで合格点をとらなければ受講完了にならない仕組みで、履修の徹底を図る。

環境情報の発信

「千代田エコシステム」の各種案内をはじめとして、環境イベント等を社内イントラ掲示板で告知。

地域貢献



▲社員が参加した食品の箱詰めボランティア

フードバンク¹⁾への寄贈をスタート ～「たのくんからの贈り物²⁾」活動～

大塚商会の通販事業「たのめーる」で扱っている食品で、賞味期限が近づいて販売できなくなりこれまで焼却処分していたもの（賞味期限前であり飲食には問題ない）を、フードバンクに寄贈（2016年5月より）。

生活弱者の援助となるとともに、焼却処分量の削減によってCO₂削減にも寄与している。

地域清掃活動

毎月1回（第一水曜日³⁾）近隣各社共同で地域清掃を実施。継続して行っている。

千代田区立九段中等教育学校生徒受入れ

毎年九段中等教育学校の生徒を迎えて、環境教育を実施。



▲環境教育の様子

¹⁾ フードバンク…「食料銀行」を意味する社会福祉活動。また食べられるのに、さまざまな理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や人に届ける活動のこと。

²⁾ たのくんからの贈り物…大塚商会の通販事業「たのめーる」の商材で、汚れたり包装が壊れたりして販売できなくなったけれどまだまだ使えるものを、施設や団体に寄付する活動。

³⁾ 6月と11月は千代田区一斉清掃の日に実施。

特別賞

三井住友海上火災保険株式会社

[所在地] 神田駿河台 3-9、3-11-1

左：総務部 地球環境・社会貢献室
城 千穂 氏
中：総務部 地球環境・社会貢献室 課長
浦嶋 裕子 氏
右：千代田区長 石川 雅己



省エネ



▲エコ整備のしくみ

エコ整備・エコ車検の普及

整備工場の代理店組織である「アドバンスクラブ」を通じて、エコ整備・エコ車検を普及推進。

エコ整備・エコ車検とは、特殊な方法で自動車のエンジン燃焼室内を洗浄すること（エンジン洗浄）を中心とする整備技術。有害ガスの排出が抑えられるほか、燃費が改善し、使用燃料が減ることによってCO₂の削減にもつながる。

環境教育



▲ECOM駿河台

環境コミュニケーションスペース「ECOM 駿河台」における環境啓発活動

2012年、三井住友海上駿河台新館敷地内に竣工した、地域に開かれた環境コミュニケーションスペース「ECOM 駿河台」において、竣工当初から現在に至るまで継続して、社員および一般市民向け環境啓発活動を行っている。

地域貢献



▲近隣小学生を対象にした生きもの探しのイベント

環境関連イベントの開催

- ① 駿河台ビルの屋上庭園を開放し、毎月1回朝、だれでも自由に参加できるバードウォッチングを開催。
- ② 全国で「部支店で年に1つは環境・貢献活動」を展開、植林や湿地の保全活動など、地域に応じた環境保全活動を実施。
- ③ さまざまな大学に、緑地や緑地での活動を研究材料として提供し、連携した研究を実施。

環境 配慮賞

NEC ネットエスアイ サービス株式会社

[所在地] 神田錦町3-1



左：管理本部 経営品質管理部長
大久保一男氏
中：取締役
山下裕嗣氏
右：千代田区長 石川雅巳

省エネ



▲伐採木をチップ化し大地に還す温暖化対策

ISO14001(環境マネジメントシステム:EMS) 認証の取得

2014年からNECネットエスアイグループ全体での環境活動の取組みを強化しており、当社も2017年12月ISO14001認証を取得。

- ・気候変動対策への取組み強化
- ・事業活動の環境視点での評価
- ・環境マネジメント基盤と体制の強化
- ・環境に係る教育の推進

電力28%、ペーパー月4千枚を削減

OA機器をデスクトップからノートへの切り替え等で、電力28%削減を実現。「資料は基本的にペーパーレス」「プリントはA3に4枚分両面印刷で紙を節約」等の施策により、毎月1万枚使用していた用紙の40%にあたる4千枚の削減を達成。朝・昼の消灯、照明はブースごとにON/OFF。週次・月例のTV会議利用で国内出張にかかるCO₂を削減。

産廃の「伐採木」をチップ状にして再利用

メガソーラー設置の際、整地時に出る伐採木をチップ状にして、再度地面に撒き自然に還す活動。産業廃棄物の有効活用を推進。

環境教育

「田んぼ作りプロジェクト」

生物多様性保全活動の一環として2012年から開始。田んぼ作りプロジェクトは、茨城県石岡市東田中の休耕田を再生し、様々な生物を呼び戻し、生態系の復元のために活動を展開している。このプロジェクトは、NECネットエスアイグループ会社従業員とその家族向けの年間を通じたイベントであり、田植えから脱穀、生態系調査まで、地元有識者の方々の指導を受け、「自然体験型プログラム」として実施している。(累計参加者数：940名)

NECネットエスアイグループ 環境への取組み (社外HP CSRサイト)
<http://www.nesic.co.jp/csr/environment-enlightenment.html>

eラーニング受講率100%

eラーニングで20以上のプログラムを用意、100%受講を達成。

地域貢献



「千代田区のためにできることをやっぺいこう」

NECネットエスアイグループの「地域社会に貢献する」という基本理念のもと活動。

- ①「ちよだ企業ボランティア連絡会」に参加
2013年から、千代田区社会福祉協議会の「ちよだ企業ボランティア連絡会」メンバー。千代田区「福祉まつり」、一番町特別養護老人ホーム利用者との散策会(幹事企業)、サンタクロース・ボランティア(「サンタ講習会」やプレゼント・カード作り、交流会)等で活動。
- ②学生インターンの受け入れ
- ③2016年新入社員、東北復興ボランティア

平成29年度 提出事業所

(敬称略、五十音順)

- * 株式会社アイティ・イット
- * 株式会社あおぞら銀行
- * アコム株式会社
- * 朝日火災海上保険株式会社
- * 旭化成株式会社
- * 旭化成ファーマ株式会社
- * 旭硝子株式会社
- * 旭情報サービス株式会社
- * アセットマネジメント One 株式会社
- * アデコ株式会社
- * イオンクレジットサービス株式会社
- * イオンリテール株式会社
- * 石垣食品株式会社
- * 出光興産株式会社
- * 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- * 株式会社イトーヨーカ堂
- * 独立行政法人医薬品医療機器総合機構
- * 株式会社インターネットイニシアティブ
- * 株式会社インテージホールディングス
- * インテル株式会社
- * 株式会社インフォメーション・ディベロプメント
- * 株式会社エイチ・エル・シー
- * SAP ジャパン株式会社
- * SMBC 日興証券株式会社
- * NEC ネットエスアイ・サービス株式会社
- * NEC プラットフォーム株式会社
- * 株式会社 NSD
- * エヌエス生命保険株式会社
- * エヌ・ティ・ティ コミュニケーションズ株式会社
- * 株式会社 NTT ドコモ
- * エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ株式会社
- * MS&D スタッフサービス株式会社
- * 応用地質株式会社
- * 株式会社大塚商会
- * 株式会社オリエントコーポレーション
- * 国立研究開発法人科学技術振興機構
- * 株式会社 KADOKAWA
- * カルビー株式会社
- * 川口化学工業株式会社
- * 川崎汽船株式会社
- * 学校法人共立女子学園
- * 株式会社共立メンテナンス
- * 杏林製薬株式会社
- * 協和製薬株式会社
- * 協和発酵キリン株式会社
- * 近畿日本ツーリスト株式会社
- * 株式会社きんてん
- * 株式会社クラレ
- * 株式会社クリーク・アンド・リバー社
- * 株式会社くるなび
- * KDDI 株式会社
- * 興産信用金庫
- * 独立行政法人国際協力機構
- * 株式会社国際協力銀行
- * 国家公務員共済組合連合会
- * コニカミノルタ株式会社
- * サイバネットシステム株式会社
- * 酒井国際管理株式会社
- * 産業経済新聞社
- * 三幸株式会社
- * 株式会社三省堂書店
- * 株式会社 GSI クレオス
- * 株式会社ジェイエイシーリクルートメント
- * JXTG エネルギー株式会社
- * JFE 商事株式会社
- * JFE スチール株式会社
- * JFE ホールディングス株式会社
- * 株式会社 JP ハイテック
- * 株式会社シェーンコーポレーション
- * シプラルタ生命保険株式会社
- * 株式会社島津製作所
- * Shangri-La Hotels Japan 株式会社
- * 首都高速道路株式会社
- * 株式会社小学館
- * 株式会社小学館集英社プロダクション
- * 学校法人上智学院
- * 昭和産業株式会社
- * ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
- * 新日鐵住金株式会社
- * 新日本有限責任監査法人
- * 株式会社スタッフサービス
- * スバル興業株式会社
- * 石油資源開発株式会社
- * 株式会社セブン・イレブン・ジャパン
- * 株式会社セブン銀行
- * 全国農業協同組合連合会
- * 双日株式会社
- * 株式会社そごう・西武
- * ソニー銀行株式会社
- * 第一実業株式会社
- * 第一生命保険株式会社
- * ダイダム株式会社
- * 大鵬薬品工業株式会社
- * 大和証券株式会社
- * 大和住銀投信投資顧問株式会社
- * 大和ハウス工業株式会社
- * TAC 株式会社
- * 中央労働金庫
- * 株式会社中日新聞社
- * 株式会社帝国ホテル
- * 鉄建建設株式会社
- * テュホン株式会社
- * 株式会社テリロジー
- * テロイトトーマツコンサルティング合同会社
- * トイツ証券株式会社
- * 東海旅客鉄道株式会社
- * 東京海上日動火災保険株式会社
- * 学校法人東京家政学院
- * 東京産業株式会社
- * 東京商工会議所
- * 株式会社東京商工リサーチ
- * 東京センチュリー株式会社
- * 東京通信病院
- * 東京電力カフエール&パワー株式会社
- * 東京電力パワーグリッド株式会社
- * 東京電力ホールディングス株式会社
- * 東京都国民健康保険団体連合会
- * 東京ビル整美株式会社
- * 東宝株式会社
- * 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
- * 株式会社トコモ CS
- * 凸版印刷株式会社
- * 株式会社トヨタレンタリース東京
- * ナガイレーベン株式会社
- * 長島・大野・常松法律事務所
- * 株式会社ナカノフドー建設
- * ナフテスコ株式会社
- * 株式会社ニチエ学園
- * ニチレキ株式会社
- * 株式会社日建設計
- * 日産化学工業株式会社
- * 株式会社日新
- * 日新火災海上保険株式会社
- * 日新製鋼株式会社
- * 株式会社日清製粉グループ本社
- * 日本アジアグループ株式会社
- * 日本紙通商株式会社
- * 日本化学株式会社
- * 株式会社日本教育クリエイト
- * 株式会社日本経済広告社
- * 日本クミファ株式会社
- * 日本原子力発電株式会社
- * 日本コンセプト株式会社
- * 日本歯科大学附属病院
- * 株式会社日本政策金融公庫
- * 株式会社日本政策投資銀行
- * 日本製紙株式会社
- * 日本生命保険相互会社
- * 日本セオン株式会社
- * 日本曹達株式会社
- * 学校法人日本大学
- * 日本大学病院
- * 日本調剤株式会社
- * 株式会社日本テレビワーク 24
- * 日本電信電話株式会社
- * 日本土地建物株式会社
- * 一般財団法人日本品質保証機構
- * 日本ホテル株式会社
- * 日本郵政株式会社
- * 日本郵船株式会社
- * 日本郵便株式会社
- * 株式会社ニュー・オータニ
- * 株式会社ニューヨークカー
- * 株式会社ネットワークド
- * 能美防災株式会社
- * 農林中央金庫
- * ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
- * 野村證券株式会社
- * 野村信託銀行株式会社
- * 株式会社野村総合研究所
- * パーソルキャリア株式会社
- * ハウス食品グループ本社株式会社
- * 株式会社バレスホテル
- * 株式会社阪急阪神百貨店
- * 東日本高速道路株式会社
- * 東日本旅客鉄道株式会社
- * 日立オートモティブシステムズ株式会社
- * 日立化成株式会社
- * 株式会社日立産機システム
- * 株式会社日立製作所
- * BNP パリバ証券株式会社
- * 株式会社ビックカメラ
- * 株式会社ビデオリサーチ
- * PwC 税理士法人
- * 富国生命保険相互会社
- * 富士ソフト株式会社
- * 芙蓉総合リース株式会社
- * 古河電気工業株式会社
- * フルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社
- * 株式会社文藝春秋
- * 株式会社ベニシユラ東京
- * 学校法人法政大学
- * 株式会社ボストン・コンサルティング・グループ
- * 株式会社毎日新聞社
- * 前田建設工業株式会社
- * 株式会社丸井
- * 株式会社ミクニ
- * 美津濃株式会社
- * 株式会社みずほ銀行
- * みずほ証券株式会社
- * みずほ情報総研株式会社
- * 社会福祉法人三井記念病院
- * 三井住友海上火災保険株式会社
- * 株式会社三井住友銀行
- * 三井住友信託銀行株式会社
- * 三井住友ファイナンス&リース株式会社
- * 三井生命保険株式会社
- * 三井物産株式会社
- * 三井不動産ファシリティーズ株式会社
- * 三井不動産リアルティ株式会社
- * 三菱瓦斯化学株式会社
- * 三菱地所株式会社
- * 株式会社三菱地所設計
- * 三菱地所プロパティマネジメント株式会社
- * 三菱地所リアルエステートサービス株式会社
- * 三菱商事株式会社
- * 株式会社三菱総合研究所
- * 三菱電機株式会社
- * 株式会社三菱東京 UFJ 銀行
- * 三菱 UFJ 国際投信株式会社
- * 三菱 UFJ 信託銀行株式会社
- * 三菱 UFJ ニコス株式会社
- * 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
- * 三菱 UFJ リース株式会社
- * 向井建設株式会社
- * 学校法人明治大学
- * 明治安田生命保険相互会社
- * 明豊ファシリティワークス株式会社
- * メタウォーター株式会社
- * ヤフー株式会社
- * 山崎製パン株式会社
- * ユアサ商事株式会社
- * 株式会社読売情報開発
- * 株式会社ラック
- * 株式会社 LIXIL
- * 株式会社リクルートホールディングス
- * 株式会社リョーサン

※千代田区温暖化配慮行動計画書制度要綱第6条第1号、並びに第7条第3号に基づき公表しています。
※平成29年12月末日現在における提出事業所です。

応募企業35社^(※)の

わが社の ECO 自慢

※264事業所中、「わが社のECO自慢」に掲載を希望した事業所

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 (略称: CTC)

Open Compute Project (OCP) とは、データセンターに最適なハードウェアの標準化・オープンソース化を推進する米国 Facebook がはじめた取組み。OCP 仕様のハードウェアは、従来に比べ低コストかつ消費電力を約10%削減できる。

CTC は、国内唯一の OCP 認定のソリューションプロバイダとして、製品の販売からシステム構築等を推進しており、国内データセンターの環境負荷低減に貢献している。



株式会社NTTドコモ (山王パークタワー)

ドコモが消費する電力の約4分の3は、全国の基地局で使用されています。ドコモでは基地局電力消費によるCO₂排出削減のため、既存基地局にソーラーパネルや大容量蓄電池を導入した「グリーン基地局」を2016年3月までに54局整備し、さらに拡大を進めています。ソーラーパネルで発電した電力は無線装置の給電に使われるとともに、余剰電力はリチウムイオン電池などに蓄えることで、停電時への対応力も高めています。



応用地質株式会社

当社は、地盤防災、インフラ、地震防災、地球環境、エネルギーなど、人と地球に関わるコンサルティングサービスを行う企業です。地球環境分野では生物多様性対応、自然環境の保全・再生、廃棄物の浄化・再利用などに取り組んでいます。

各地で総合学習やイベントの講師を行っており、生物学・林学・農学・廃棄物工学・土壌学・地質学など様々な分野の専門家が対応します。生き物の話し、地球の話しに子供も大人も興味津々です。



6月 岐阜県二善町 田んぼの生き物学習



11月 さくら湖自然環境フォーラム

川崎汽船株式会社

【ランチタイム・ボランティア】

同じビルに同居する他社と合同で、従業員が気軽に参加出来る昼休みの時間帯を利用して、近隣地域の清掃ボランティア活動を定期的の実施しています。

【社有地での里山保全ボランティア活動】

千葉泉成田国際空港隣接の社有地において、特定非営利活動法人千葉大学環境 ISO 学生委員会との協働による里山保全ボランティア活動を実施しています。

(写真: 2017年5月活動後集合写真)



首都高速道路株式会社

首都高大橋 JCT の大橋換気所屋上に自然再生緑地「おおはしりの杜」を整備し、壁面にはオオイタビによる緑化を施しています。

目黒川等の周辺の緑と連携するエコロジカル・ネットワークの拠点の一つとして地域の環境改善に寄与できる緑化空間となっており、地域の生態系に配慮した整備と在来種育成の維持管理等の生物多様性の取組みが評価され、平成28年9月21日にJHEP 認証の最高ランクである「AAA」を取得しました。



スバル興業株式会社

当社は安全運転による事故防止およびエコドライブの推奨のため全車両にドライブレコーダーを設置し、安全でエコな運転を励行しています。

例として首都高速道路では事故が1件減ると、2キロの事故渋滞と3トンのCO₂排出が軽減できるとのことです。

当社は「TOKYO SMART DRIVER」の賛同パートナー企業として、事故防止およびエコドライブの推進をしています。

<http://www.smartdriver.jp>



双日株式会社

当社では、テナントとして、夏季のジェットタオル温風停止などオーナーの各種施策に協力するとともに、ライトダウンキャンペーンへの参画や、クールビズ・ウォームビズなどを実施しています。

教育、啓発活動としては、環境マネジメントシステムの一環として各部で環境に関する教育を実施したり、eco 検定の受験を継続的に推奨しています。

また、グループ森林保全活動として間伐・草刈等を行っています。



株式会社そごう・西武 (本部)

①西武池袋本店屋上「食と緑の空中庭園」では、季節に応じた世界の料理、そして四季を感じる庭園や壁面緑化、芝生の広場など、多様な自然とのふれあいをご提供しています。

②「地球環境を考える」というメッセージをギフトに添えて贈る「グリーンラッピング」や使わなくなったこども靴をお預かりしてアフリカ「ザンビア」へ贈る「こども靴下取りサービス」など、お客さまと共に「植樹・育樹」「リユース」活動を推進しています。



池袋本店 空中庭園 緑の庭



こども靴下取り

第一生命保険株式会社 (日比谷本社)

- 当社は地球温暖化の防止に寄与するため、下記取組みを実施しています。
- ・ビル内の室温を夏季28度、冬季20～23度を目安に設定
 - ・LEDタスクライトを導入し、照明を2/3程度間引き
 - ・昼休み時間の事務室消灯
 - ・エレベーター2UP、3DOWN (プラス2階、マイナス3階の移動は階段利用を徹底)
 - ・自動販売機照明の消灯
 - ・プリンター、コピー機の業務終了時電源OFF、シュレッダー・スキャナーの使用時以外電源OFF
 - ・2時間以上の離席時OFF

東京センチュリー株式会社

当社は事業の成長に挑戦するお客さまとともに、「環境に配慮した循環型経済社会の実現に貢献」することを目指しています。再生可能エネルギーによる発電事業ではパートナー企業、地方自治体との協働による取組み事例が評価され、「21世紀金融行動原則(環境省)」の「グッドプラクティス」に選定されました。水上設置型の太陽光発電等、新たな技術も導入し、事業活動を通じて循環型経済社会の実現を後押しして参ります。



TAC株式会社 (TAC本社ビル)

平成29年1月に本社ビルをエネルギー効率の良い空調設備に入替え、冷暖房効率をアップさせた。

入替は、費用のかかる工事であるが、CO₂削減に貢献するとともに、快適な職場環境作りにも繋がるため、入替を決定。

空調設備については、環境省のCO₂削減を目的とする補助金を利用しており、「空調設定温度の緩和(昨年比)」という目標があるため、従業員への啓発を兼ねて補助金の利用や空調温度設定の案内を行っている。

株式会社ナカノフードー建設

- ①施工段階におけるCO₂の排出抑制
- ②工業化、省力化の積極的推進及び工期短縮等へ活用
- ③有害化学物質の管理の徹底
- ④廃棄物の発生抑制
- ⑤環境配慮設計の促進
- ⑥環境配慮提案件数の向上
- ⑦太陽光発電の実施
- ⑧オフィスにおける環境社会貢献活動の推進と企業価値の向上
- ⑨地域清掃活動の実施
- ⑩インターンシップや会社説明会で環境教育を実施
- ⑪地域環境活動への参加
- ⑫作業所における環境社会貢献活動の推進



「千年希望の丘」植樹活動

中央労働金庫 (本店ビル、会館ビル、昇龍堂ビル)

当金庫では、使用するすべてのコピー用紙をグリーン購入法適合のリサイクルペーパー(古紙パルプ配合率100%、グリーン購入法総合評価値92)に切り替えるなど、環境配慮の取組みを実践しています。

また、職員のワークライフバランスとCO₂削減を通じたCSR活動の意識醸成を図る観点から、全職場一斉に定時退勤する「R-DAY」(アールデー)を毎週設定し、管理職を含めた定時退勤および執務室の消灯を励行しています。

株式会社日清製粉グループ本社

日清製粉グループは、環境に関する中期目標を策定しました。地球温暖化防止のため、2030年度までに2013年度比で、国内ではCO₂総排出量を26%削減し、海外では原単位を7.8%削減する目標を策定しました。

また、循環型社会形成のための資源の有効活用では、グループ全体(国内)でゼロエミッションを維持し、2020年度までに事業場単位(国内)でもゼロエミッションの達成を目指します。

株式会社帝国ホテル

当社は、社長を委員長とする環境委員会のもと、省エネ・ごみ削減・グリーン購入等のテーマ別に社内横断的なチームを設け、環境に関する取組みをひろげています。ごみの分別もその一つで、「混ぜればごみ、分ければ資源」を合言葉に徹底して行っています。平成27年度より従業員によるアルミ缶の分別・圧縮作業を行い、資源化して得た資金で日比谷公園の花壇の一部を管理する活動を開始し、緑ある街づくりにも貢献しています。



東京海上日動火災保険株式会社 (東京海上日動ビルディング本館・新館・ラメール三番町)

弊社は、1999年からマングローブ植林事業を行っており、2017年3月末までの植林面積は9カ国で10,103haとなっています。マングローブの森には、地球温暖化防止、生物多様性の保全、「みどりの防波堤」となり津波高潮被害の軽減など、さまざまな効果があります。また、弊社の植林効果を第三者に委託して調査したところ、開始から15年間で約350億円の経済価値と約125万人に影響を与えたとの試算結果を得ました。



日本電信電話株式会社

当事業所はテナントビルに所在し、与えられた空調システムで節電対策を行っていたが、建物オーナーに対し、より省エネで柔軟な空調制御が可能なシステムに変更するように要望した。

具体的には、暖房時に室温が設定温度以上になった場合の冷房運転やその逆の制御しか出来ないシステムの改修を要望し、冷房運転開始温度と暖房運転開始温度が各々設定できること、及び外気温度により外気取り込み量を制御できるシステムに変更した。

日本郵船株式会社

船舶からのCO₂排出量が大半を占めるため、最新の省エネ技術を搭載した船舶の竣工などの環境関連の技術開発や次世代燃料として液化天然ガス(LNG)への取組み、最適運航を追求する「IBIS TWOプロジェクト」の実施による燃費活動の深度化を図っています。また、環境エラーニングや環境キャンペーン(環境川柳・スローガン・フォトの各種コンテスト)を実施するなど、グループ全体で地球温暖化の防止に取り組んでいます。



ブルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社

PGF生命では、研修センターで壁面緑化を実施し、植物の力を取り入れています。植物には空気清浄(CO₂削減)、温湿度調整(省エネ)等、さまざまな効果、効能があります。

また日常でも、ペーパーレスの推進、業務で使用した上質紙のリサイクル、窓への遮熱フィルム貼付、電源OFFの徹底、蛍光灯の引き替えを実施し、日々環境問題に取り組んでいます。

学校法人法政大学

法政大学においては、2017年度から市ヶ谷、多摩、小金井の各キャンパスを包括した大学独自の環境マネジメントシステムを始動しました。高等教育機関における環境教育・研究の一環として講演会、エコツアー、環境展の実施、屋上緑化、地域連携、環境報告書の発行、環境保全活動として省エネ、省資源、廃棄物の削減と再資源化などに関する取組みを展開しています。

イラストの「えこひょうん」は、2008年度に学内公募で誕生した学生のデザインによる環境改善活動推進キャラクターで2013年度に大学公式キャラクターになりました。2016年度にはCOOL BIZ、WARM BIZ、ゴミの分別等を呼びかける新デザインが誕生し、大学の環境改善活動に活用されています。



株式会社日立製作所 (日本生命の内ビル・丸の内センタービル・秋葉原ダイヤビル)

当社が千代田区内に設置する事業所は、本社機能であり、テナントビルであることから独自での設備更新などの大規模な地球環境温暖化対策は実施していない。しかし、ビルオーナーと協働して、照明照度測定により照明灯数削減、照度補正值、照明の一斉消灯、空調設備の運転時間の短縮化、温室監視による過時設定の調整など、着実な施策を実施している。また、ライトダウンキャンペーン活動等への参画、クールビズの期間延長、プレミアムフライデーの導入、残業時間の短縮などを実施している。

前田建設工業株式会社

当社では山口県美祢市の炭田跡地にて、大規模太陽光発電所の建設及び発電事業の運営を行っています。2017年9月に最大出力7,000kw(一般家庭約2,200世帯分)規模の発電を開始しました。

日本の経済成長を長きに渡り石炭やセメントの供給を通じて支え続けてきた歴史ある炭田が、自然エネルギー創出の地として生まれ変わります。当社は従来の総合建設に加え、事業者としても持続可能な社会の実現に貢献し続けてまいります。



富士ソフト株式会社

- 社内のecoオフィスサイトに「F&S ecoガイドライン」27項目を掲載。ビル毎の単力使用量をグラフ化し、年間の使用状況を見える化することで、環境に対する社員の意識やモチベーションの向上を図っています。
- 自社開発のペーパーレスシステム「more NOTE」を利用し、タブレットやスマートフォンに会議資料をアップロード。資料の差替えなども即時に行い、会議や打ち合わせのペーパーレス化を実現し、CO₂削減を推進しています。
- 少子高齢化に伴い過疎化が進む地方において、NPO法人の立ち上げや地域おこし、里山保全などのボランティア活動を行っています。



里山保全活動の様子

株式会社みずほ銀行 (内幸町本部・大手町本部)

〈みずほ〉では、CO₂排出量削減目標を設定し、省資源・省エネルギー対策を設備・運用の両面から実施するとともに、本業において、再生可能エネルギー普及等に向けた法人・個人へのファイナンスを幅広く提供しています。

また、気候変動緩和に向けたエコアクション宣言に社員が参加し、参加数に応じた苗木の寄付などの環境啓発を推進しています。



芙蓉総合リース株式会社 (本社)

芙蓉リースは、2012年に子会社を通じて太陽光発電事業に参入。以降、2016年3月までに全国29カ所に大規模太陽光発電所(メガソーラー)を開発し、約23,000世帯分の電力を供給しています。◎2

直近では、2015年12月から、福島県の南相馬市と新井郡塩谷郡塩谷町で商業運転を開始。両発電所合わせた年間平均発電量は、一般家庭1年間消費電力量で約1,282世帯分になります。◎2

さらに、2018年の稼働開始に向けて、福島県の富岡町と楡葉町、宮城県の大崎市(3カ所)でのメガソーラーの建設を進めています。新たなメガソーラーは従来の10倍近い規模となる大型の発電所で、3カ所を合わせた電力供給量は約17,000世帯分となる見込みです。

ホームページ掲載箇所 → <http://www.fgl.co.jp/csr/environment/target.html>
当社では今後も太陽光発電事業を通じて、再生可能エネルギーの普及に努め、地球環境保全に取り組んでいます。

◎1: 出力が1MW(メガワット)以上1000kW以下、大規模な太陽光発電所
◎2: 一般家庭の約3,800kWhで換算



三井住友ファイナンス & リース株式会社

当社では、太陽光発電設備・地熱発電設備・水素ステーションなどのリース、中古設備の売買によって機械設備のリユース・リサイクルを促進する等、事業活動を通じて地球環境保全に積極的に取り組んでいます。

今後もモノに関する金融ソリューションを提供するリーディングカンパニーとして、社会全体の省資源化・省エネルギー化に向けた取組みに貢献してまいります。

三井物産株式会社 (日本生命丸の内ガーデンタワー・JAビル)

全国74ヶ所、約44,000ヘクタールの社有林「三井物産の森」を長い年月をかけて守り、大切に育てています。年間約16万トンの二酸化炭素を吸収・固定し、一部の社有林(北海道・三重)では、環境省のカーボンオフセット(J-VER認証)制度に基づく温室効果ガスのオフセット用クレジットを合計約14,000t-CO₂取得しました。同クレジットの販売により、環境価値を一部収益化し、森林整備の資金循環に取り入れていくことにも取り組んでいます。



<http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/environment/forest/>

三菱地所プロパティマネジメント株式会社

【丸の内アンバサダー/エアークリーンアップ】

社内外からの有志を募り、丸の内アンバサダー(※)活動の一環として、エアークリーンアップを実施(2017年4月・5月・6月実施)。尚、エアークリーンアップ実施時には、丸の内を訪れる方へのおもてなしとして、道案内、写真撮影、お困りのお客様への声掛けなどを、参加者が積極的にやっている。

※丸の内アンバサダー(丸の内・大手町・有楽町一帯の、新やビルの魅力を高める様々な取り組みを実施することで、お客様(財業者・一般来街者)へのおもてなしを体現するメンバー。丸の内エリアに勤務する三菱地所グループ社員に加え、ビルに常駐で運営管理に従事するパートナー会社社員等、街を支える関係者で構成される。



三菱商事株式会社本店 (丸の内パークビルディング)

省エネルギーの取組みとして、周囲照度を450ルクスにして、卓上LEDタスクライトを設置している。

従業員に対する環境教育として、社員向けに電子版環境ハンドブックの配布、内部環境監査、外部機関による定期維持審査時に環境意識向上のための社員インタビューを年1回実施。

また、環境CSR活動として、森林保全・サンゴ礁保全プロジェクト等の生物多様性の保全活動を実施。



三菱 UFJ 信託銀行株式会社

「ビーターラビット™未来へつなぐ森」

三菱UFJ信託銀行は、平成21年5月、埼玉県と長瀬町と「埼玉県森林づくり協定」を締結し、長瀬町宝登山(ほごさん)地内にある共有林(約1ha)で森林保全活動を開始、「ビーターラビット未来へつなぐ森」と名づけたこの森で、従業員とその家族が植樹や下草刈りといった活動に参加しています。



三菱商事株式会社本店 (三菱商事ビルディング)

省エネルギーの取組みとして、周囲照度を450ルクスにして卓上LEDタスクライトを設置している他、天井照明(蛍光灯)のLED化を一部実施。

従業員に対する環境教育として、社員向けに電子版環境ハンドブックの配布、内部環境監査、外部機関による定期維持審査時に環境意識向上のための社員インタビューを年1回実施。

また、環境CSR活動として、森林保全・サンゴ礁保全プロジェクト等の生物多様性の保全活動を実施。



三菱 UFJ ニコス株式会社

クレジットカードの入会から発券、ご利用明細書、ポイントの還元まで、一貫して環境に配慮した「MUFGカード」を発行しています。

カードの素材には、焼却時に塩素ガスを出さないPET-Gを、入会申込書には、FSC認証紙を使用。カード利用後に送付するご利用明細書のWEB明細切替推進を図るとともに、ポイント交換商品に、国内の森林・植林事業を行う環境保全団体への寄付プログラムを用意しています。

三菱地所株式会社

「ホトリア広場」

2017年1月大手町パークビル竣工に伴い、皇居の豊かな自然との調和をコンセプトにした「ホトリア広場」が完成した。生き物を呼び込む取組みとして、食餌木や吸蜜植物を取り入れ、鳥の巣箱を設置。水景施設は生物生態に配慮した紫外線滅菌を行い、水景の底には荒木田土を堆積させ、細かな隙間を持つ多孔質の石積みを採用した。

こうした取組みが評価され、一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)の「いきもの共生事業所認証」(ABINC)を受けた。



メタウォーター株式会社

オフィスや国内建設工事現場において、リサイクルの促進、エコ商品への切替を実施しています。

- ・事務用品については、グリーン購入を推奨しています。
- ・オフィス照明については、LED化による省エネルギー活動を推進しています。
- ・業務用車両については、エコカーへの切替を促進することにより、環境負荷の軽減に努めています。
- ・建設現場においては、表示看板などの現場にて使用される備品のリユース活動を展開しています。



主な取組み事例

省エネルギー・省資源へ向けた取組み

- 節電に関する取組み
 - オフィスでの節電状況を定期的に確認
 - 階段利用の推奨（2UP 3DOWN）
 - 深夜のパソコン電源状況を調査し、消し忘れのパソコン利用者に対する指導の実施および節電意識の向上
 - 遮熱フィルムの貼付
- ワークスタイルによる取組み
 - プレミアムフライデーの導入
 - クールビズ、ウォームビズの実施
 - 朝型勤務の導入
 - 「COOL CHOICE」への参加登録
- 社内外への情報提供
 - イン트라ネットで全拠点の節電実績を共有
 - 電光掲示板および公開ホームページ上でリアルタイムの電力使用量を表示
- 廃棄物・燃料等の削減
 - 電気自動車の導入
 - 社有車のエコカーへの切り替え
 - エコキャップ収集運動
 - 外来者用を除きペーパータオルの無設置
 - 経営会議でのタブレット端末使用
 - グリーン購入の推進
 - 文房具コーナーの一元管理
 - リユースコーナーの設置
- イベントによる取組み
 - 千代田区自販機消灯キャンペーンへの参加
 - マイボトル・マイカップキャンペーンへの参加
- その他の取組み
 - ライトダウンキャンペーンの展開
 - 館内の省エネ設備等を見学するエコツアーの実施
 - グループ企業を含めた全組織が環境目標を設定し達成に向け推進

従業員に対する環境教育

- 研修会等での学習
 - 全社従業員に対する環境eラーニングの実施
 - 各部署のエコリーダーに、外部講師招聘による意識・知識向上を目的とした環境教育を実施
 - 毎年6月の環境月間に講演会等を実施
 - 社員向けの電子版環境ハンドブック（冊子を使用しない電子マニュアル）による環境教育
- 学習・活動支援
 - 社内エコポイント制度の運用により、積極的に環境活動に取り組む社員とその家族を応援
 - エコ検定取得推進キャンペーン（合格者には受験料を会社が負担）を実施
- 社内への情報提供
 - 環境情報関連のメールを配信
 - 省エネルギー推進のポスターを作成し館内に掲示
 - 始業前に社内放送で環境改善活動や法令順守に関するメッセージを放送することによる啓発活動の実施
 - エコニュースの発行
 - 環境月間に、社内のイン트라ネット掲示板に環境ミニ知識を配信
- その他の学習システム
 - ボランティア休暇制度の導入

地域に貢献する取組み

- 清掃活動を通じた貢献
 - 千代田区一斉清掃活動への参加
- イベントへの参加
 - 区内一斉打ち水への参加
 - 町内会活動への参加
 - 本 de 寄付キャンペーン
- 教育・学習による貢献
 - 小学生を対象とした環境教育の実施
 - 千代田ボランティアクラブへの参加
 - 中高生を対象とした環境出張授業の実施

区の主な施策

地球温暖化・省エネ関連の助成制度

千代田区省エネルギー改修等助成制度

一般家庭やマンション共用部、事業所ビル等における省エネルギー改修等を実施した方に、助成金を交付します。

(助成を受けるには、工事前の申請が必要となります。)

千代田区低炭素建築物助成制度

一定規模の新築等をする際に、一次エネルギー消費量の削減によるCO₂排出量が省エネ基準より35%以上削減された計画を対象に、その建築主の方に、助成金を交付します。

千代田区建築物環境計画書制度

区内での一定規模以上の建築物の新築等に際し、省エネ対策など環境配慮について事前協議を実施しています。

環境関連イベント

*区では年間を通じてさまざまなイベントを開催しています。ぜひ、ご参加ください。

▶詳しくは千代田区HPをご覧ください。





大学生が作るページ

この取組みがすごい!

よりすぐりの11事業所をご紹介します

この冊子は、区内の大学に在籍している大学生と協働で作成しています。ここからは、編集に協力している大学生たちが、実際に足を運んで取材し、学生なりの視点で「すごい!」と感心した取組みをご紹介します。



"だけ"じゃない! 里山保全活動

川崎汽船株式会社

川崎汽船では、オフィス内で貼り紙や一覧表を活用した細かな廃棄物の分別に努め、年に一度行われる環境セミナー。また昼休みの時間帯に清掃活動を行うランチタイムボランティアなど、様々な環境保全活動に取り組んでいます。その中でも印象的なのが里山保全活動です。

千葉県にある社有地の里山保全活動を継続的に行っており、その活動は良好な景観づくりや生物多様性の保全だけでなく、社員の環境意識の啓発という面も担っています。さらに、社員同士の繋がりだけでなく、地元住民の方々とのコミュニケーションも大事にしている、里山や周辺地域にも確かな成果をもたらしています。

お話を聞いた私たち自身も参加したいと感じるほど、社員のみなさまが本当に楽しみながら保全活動を学び、ボランティア活動を行っていたのが、印象に残りました。



▶里山保全活動を終えて、充実感いっぱいの笑顔

こんな会社です

2019年に創立100周年を迎える大手海運会社。世界の経済活動を支える安全で安定した海上輸送及び物流サービスの提供を行っています。船舶の排気ガス低減の工夫などにより2019年のマイルストーンに定めたCO₂削減目標は2015年に前倒しで達成、「K」LINE グループ環境アワード」では優れた取組みを表彰するなど、環境保全活動にも積極的に取り組んでいます。



取材/大妻女子大学3年 吉澤このみ
根岸亜希菜

お客様と一緒に環境問題を解決

株式会社そごう・西武

とにかく多くの取組みを行っていることが強く印象に残りました。西武池袋本店では屋上にプランターで里山を再生。全店では、簡易包装に変えることで植樹の支援ができたり、全国にある「セブンの森」の間伐材を利用した名刺やリサイクルボックスの設置、地元企業や学校等と一緒に地域の魅力を発信するイベントや、店頭で盲導犬と視覚に障がいのある方を知っていただくイベント……。社内だけで完結するのではなく、どれだけ外へ伝え、広げることができるのかということが大切、という考えが基本にありました。

中でも、公益財団法人ジョイセフと連携してお客様から使用しなくなった子供靴をお預かり(下取り)し、ザンビアに届ける活動では、医療の整備もままならない国で、単に靴を支給するだけでなく、衛生に関して学んでもらってから渡すような仕組みにしている、ザンビアの衛生環境の向上に大きく貢献しているそうです。現地の子どもたちが喜んでいる様子をホームページ等に掲出し、お客様に報告することで、思いの架け橋にもなっています。

▶ザンビアの子どもたちに靴を届ける



◀西武池袋本店屋上の「食と緑の空中庭園」。里山を再生中

こんな会社です

セブン & アイ・ホールディングスのグループ力を活かし、幅広い世代に向けてファッションを含め、ライフスタイル全般について上質さ、豊かさを提案し、日々進化し続けるそごう・西武。お客様に近づく活動に取り組むことや地域の活力になることを大切にしている、地域に根差した百貨店です。



取材／大妻女子大学3年 吉澤このみ
越森あや乃

ホテルならではの資源の再利用!

株式会社帝国ホテル

最上級のおもてなしをイメージする帝国ホテルは、レストランや宴会場で発生する生ゴミを材料とした肥料を使って育てた野菜を一部のレストランや従業員食堂で活用、客室で分別回収されたアメニティをリサイクルするなど、ホテルなので多くなってしまいう消費資源を上手く再利用している点が印象的でした。さらに、20種類ものゴミの分別も行っていました。

また入社5年以内の社員向けにゴミ分別、省エネ等に関する環境セミナーを行っており、業務の中に自然とエコな活動を取り入れられるようになるといった社員の環境配慮の意識向上に繋がっているようです。例えばバックスペースでの節約・節電や、業務内で使い切った牛乳パックをペーパータオルにリサイクル、客室に飾ってあったバラの花を乾燥してポプリにするといったものです。

お客様に見えないところで環境に配慮しているという点から、ホテルの豪華さ・非日常さを崩さない姿勢が素晴らしいと感じました。

▶社内の環境セミナーにて



▲ワインコルクを再利用して作ったコースター

こんな会社です

1890年に日本の迎賓館として日比谷に開業しました。創業の精神を継ぎ国際的ベストホテルを目指す日本の代表的なホテルです。「最高のおもてなし」を提供したいという想いで、多くのお客様をお迎えしており、東京・大阪・上高地の3ヶ所で展開しています。



取材／大妻女子大学3年 古島 響
江部 里奈
吉澤 このみ

お客様とともに、地球の未来を作る

東京海上日動火災保険株式会社

同社は1999年からマングローブ植林事業を行っています。「環境を守り、長く続けられることを」という社員の思いがそのきっかけです。2007年にはこの事業を100年続けることを宣言したそうです。なぜ、主にアジアで植林をしているのか不思議に思いましたが、マングローブの生息する熱帯・亜熱帯の地域の中でも、比較的日本に近いアジアで活動するNGOと縁があったこと、また、社員の方々が実際に現地へ赴きたいという強い思いからだそうです。そしてこの活動の効果については、現地での生産物の収穫や漁業生産性の向上等も含め、累計で約350億円もの経済価値が生まれているとの試算結果がでているそうです。

また、「Green Gift」というプロジェクトでは、お客様が保険契約を申し込む際に、紙ではなくweb約款を選択することで紙使用量を削減し、この削減額の一部をマングローブ植林活動をはじめとする、国内外での環境保護活動のサポートに役立てています。社員の方だけでなく、お客様と共に環境配慮行動をされていることに、とても感心しました。

▶マングローブの
植林活動



◀ツアー参加者
全員で

こんな会社です

「万人は一人のために、一人は万人のために」という相互扶助のシステムの下、豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献することを目指し、様々なリスクからお客様をお守りし、「安心と安全」をお届けする保険会社です。



取材／大妻女子大学3年 江部 里奈
日本大学1年 山田 梨娘

環境と人を繋ぐ！ リースで始めるエコな事業

東京センチュリー株式会社

社会貢献とリンクした事業展開が素晴らしいと思いました。

オートリース事業では、リース車両への、運転時の映像記録や走行データの管理をすることが出来る「ドライブドクター」の導入により事故の減少や燃費の向上などをサポートし、効果が出ているそうです。

環境エネルギー事業では、地方自治体と連携した包括的なリースサービスが、優良な事例として、21世紀金融行動原則（環境省）の「グッドプラクティス」に選定されました。再生可能エネルギーの地産地消が促進され、収入の一部を街灯のLED化に活用するなど、まちにも環境にも優しい事業が評価されています。

リース会社だからこそできるエコな事業、今後に期待しています。



▶テレマティクスサービスの
「ドライブドクター」

▶太陽光発電所
千葉・山倉水上
メガソーラー発電
所全景



こんな会社です

取扱高トップクラスを誇る国内リース事業分野の他、4つの事業分野を展開する金融・サービス企業です。東南アジア配車サービス大手Grab社との協働による自動車リース・レンタル事業や、太陽光発電事業など、モノだけではなくサービスの提供に加え、様々な事業を推進しています。環境に優しい各種事業を通じて、循環型経済社会の実現に貢献しています。



取材／大妻女子大学3年 根岸亜希菜
古島 響

見える化で目標を確認! 最新省エネの船

日本郵船株式会社

陸海空の物流をしている企業はどのような環境配慮行動をしているの?と気になっていました。

オフィスでは、年ごとの目標を設定した省エネや省資源活動、HPやレポートでの取組みの外部発信、社会貢献活動促進のためのボランティアポイント制度の導入など、様々な取組みがありました。

また船では、波の抵抗を小さくして燃費をよくするための「バルバスバウ」という船首部分の改良や、船のプロペラ前方に取り付ける「MT-FAST」という、プロペラの渦の乱れを無くすための船体付加物の開発など、最新の省エネ技術を取り入れて、常に環境を意識した船の開発に取り組んでいるところが、素敵だなと思いました。

オフィス入口には、コンテナ船の未来を描いた環境に優しいコンセプトシップの模型が設置されており、目標とするものを可視化することは非常に良いことだと感じました。

▶最新コンテナ船
「NYK Blue Jay」



◀未来のコンセプトシップ
「Super Eco Ship 2030」

こんな会社です

世界最大手の海運会社。海・陸・空にまたがるグローバルな総合物流企業として、安全・確実はもちろんのこと、海洋・地球環境の保全にも貢献しています。多様な環境活動実績があり、2050年のゼロエミッションに向けては、CO₂を69%削減するスーパーエコシップの開発にも取り組んでいます。

取材/大妻女子大学3年 古島 馨

eco columns

江戸のエコに学ぶ～①～

紙!

今こそ紙のリサイクルは当たり前ですが、江戸時代でもなされていました。書き物などに使用された紙はふすまの下張りや包み紙、紙よりなどに再利用されていました。

そして最終的にゴミとなった紙屑を、紙屑買いが買い取り、古紙問屋に売っていました。問屋で古紙・紙屑に分けられたものは、すき返し業者に売られ紙が再生されるといった循環が出来上がっていました。

どんなに小さい物でも価値を見いだしていたのが江戸の人なのです。ね。(古島)



『台榭麗人図歌合』(1825)より 東京国立博物館蔵

江戸のエコに学ぶ～②～

着物!

当時の着物は手織りで高価なため、庶民は一生に一着買える位でした。そのため古くなった着物は仕立て直して再利用しました。更に古くなると、風呂敷や下駄の裏緒、おしめになりました。最後は燃やして、その灰を肥料として使うなど、徹底して布

を使い切りました。また着物の仕立てで出来た端切れを、襟や裏地にあてておしゃれを楽しんでいました。私たちは気軽に服を買いますが、いらなくなった服をリメイクしておしゃれを楽しむのも素敵だと思いました。(山田)

▼女性の半纏や子どもの着物に、端切れの使用が見られます



歌川国貞『江戸名所百人妻』(1858)より 国立国会図書館蔵

全員で取り組む、とにかく徹底した省エネ

富士ソフト株式会社

オフィスからのエネルギーの消費削減に積極的に取り組んでいました。

開放的なオフィスでは、外からの光に合わせて照明を自動調節していたり、クーラーは電気だけでなく、ガスによって氷を使った冷たい風を作り出していることに驚きました。また、電気代が安い夜間に効率よく作るという工夫もされていました。パソコンの画面は操作しないと2、3分で消えてしまうよう画一で設定されており、フロアの照明は部署のエリアごとに人がいなくなったら消すなど、細かいところに至るまで徹底した省エネが印象的でした。

モノの中にあるシステムを作っている会社なので、派手な対策はないのですが、業務でもmore NOTEの開発などペーパーレスにも力を入れていて、常に環境を意識した取組みが素晴らしいと思いました。また社員の活動は会社全体で把握し共有することにより、社員一人ひとりが常にこの環境活動に協力し行っているように思いました。



▲コミュニケーションロボット「PALRO (パルロ)」の展示

◀more NOTEを使用しているペーパーレス会議について聞く

こんな会社です

制御システムや、先進ソフトウェア開発を行う独立系ソフトウェア開発会社。ペーパーレス会議や、業務効率化を実現するmore NOTEやコミュニケーションロボット「PALRO (パルロ)」をはじめとする、ビジネスを支える技術を提供しています。



取材/大妻女子大学3年 吉澤このみ
古島 響

社員の意識を育てる! 環境研修

芙蓉総合リース株式会社

一番印象に残っているのは、新入社員に対して、自社で省エネや環境に関する研修を積極的に行っているということです。「サンデンフォレスト」の見学では、環境対策に本気で取り組む取引先の工場を見ることで、自然と共存することを学びます。

また日常業務での省エネや省資源の工夫、例えばパソコンの電源を切るとかペーパーレス、ゴミの分別などは、みなさん当たり前のこととして身につけているそうです。これらのことが、環境を重視している会社の社員としての自覚を持たせ、業務にもつながっていく、ということでした。

地域と協力することを重視した「AQUA ART デザイン・コンペ」で地元の高校や専門学校と協力をしている点なども新鮮で、今後のエコ事業の展開について大変気になりました。



▲「AQUA ART デザインコンペ」の優秀作品を展示

◀群馬県の「サンデンフォレスト」を見学

こんな会社です

パソコンから航空機まで、何でも扱う大手のリース会社。環境に対する意識が高く、リースパソコンのリユース&リサイクル他、リマーケティング事業に力を入れています。「アクア de スマイル」は、保育園や施設にインテリア水槽「AQUA ART」を無償レンタルする社会貢献活動。連動して水槽内装のデザインコンペや「児童向け出前授業」も実施しています。



取材/二松学舎大学3年 佐々木洸大

地域特性を活かした環境対策

学校法人法政大学

「法政大学が地域に与える影響が大きい」ことを考慮して、省エネ・環境教育・地域貢献の取組みをしていることが分かり、学生、教職員の方の環境に対する意識の高さに驚きました。法政大学では富士見ゲートをはじめ、校舎の建て直しが進められています。ヒートアイランド現象の抑制の一つとして屋上庭園を造って緑化を促したり、ESCO事業を取り入れたりと、ただ建て直すだけではなく、近隣の環境にも人にも優しい方法を取り入れていることに感心しました。(江部)

「法政大学第17回環境展」では、回収したリユースブックを、エコクイズなどのイベント参加者に配布しましたが、昨年度は約600冊ものリユースブックを配布したそうです。この話を聞いて、区内にある本の街「神保町」のことが頭をよぎりました。本の街だからこそ成功した取組みなのですね。その土地の特性を活かして環境問題及び社会問題の解決を目指している点は、今後環境問題を始めとする複合的な課題を検討する上でよいヒントになるのではないのかと思いました。(佐々木)

▼「富士見ゲート」及び「ポアソナード・タワー」



▲「ポアソナード・タワー」4階にあるグリーン・テラス。学生を中心とした「屋上緑化維持管理メンバー」が管理・運営している

こんな学校です

15学部・15研究科・31専攻・3インスティテュートを擁する日本有数の総合大学。市ヶ谷キャンパスは、地上27階・地下4階建ての校舎「ポアソナード・タワー」が付近のランドマークとなっており、2016年竣工の新校舎「富士見ゲート」では様々な環境配慮技術が導入されるなど、環境への意識がひとときわ高い大学です。2014年度に国際化を重点的に支援する「スーパーグローバル大学創成支援」に採択選出されています。



取材／大妻女子大学 3年 江部 里奈
二松学舎大学 3年 佐々木 洸大

gate columns

江戸のエコに学ぶ③

手ぬぐい&風呂敷! ラッピングにもバッグにもなり^{ます}

「nugoo 拭う鎌倉」さんで、手ぬぐいと風呂敷のエコな使い方について教えていただきました。その日の気分によって、包み方や使い方を覚えていくと、バッグやスカーフ、ラッピングと様々な形に変身してしまいます! 1枚バッグに忍ばせておけばいい! という気軽さ、バラエティさ、機能性を兼ね備えたとても万能な手ぬぐいや風呂敷を使って、江戸のエコな生活を現代にも生かしていくととっても素敵な暮らしが出来そうです。(江部、越森、根岸)



教えていただいたのは・・・

nugoo 拭う鎌倉 KITTE 丸の内店

昔からの日本独特の染め技法「注染」で作られた手拭いを中心に、古典文様を鮮やかな色合いで染めた風呂敷。またはこだわりの小物など「職人の手による日本のよいもの」を集めています。
千代田区丸の内二丁目7番2号
KITTE 丸の内4階
TEL:03-6256-0888
www.grap.co.jp/nugoo/



楽しく教えていただきました!

目指せ、丸の内の魅力向上!『丸の内アンバサダー』

三菱地所プロパティマネジメント株式会社

▶丸の内
アンバサダー

「昨年の10月に取り組み始めた『丸の内アンバサダー』についてお聞きしました。社員の方々から共通して出た言葉が『同じ想いを共有し、一体感を持って活動している』ということでした。

『丸の内アンバサダー』とは、三菱地所及び三菱地所プロパティマネジメント社員とパートナー会社社員を合わせた約3300人が丸の内の『街の顔』になり、おもてなしの気持ちを持って、お客様や街のためにできることをやっという取り組みです。

取組みの一例としては、ゴミ拾いや打ち水などを行っています。これらの取組みを通して、関係者に一体感を持たせ、自分たちの『街=丸の内』という意識を高めていくと共に、丸の内にいらした方々にも同じように感じていただけることを目指しているそうです。特に若手社員が率先して行うことで、結果として将来丸の内がよりよい街になっていくのではないかと感じました。

今後の『丸の内アンバサダー』の取組みが楽しみです。



◀エリアクリーニングアップ

こんな会社です

三菱地所グループのビル事業の中核を担う企業として、建物やエリア全体の新たな価値の創造に取り組んでいます。「安全・安心・快適・清潔」を大事にして、愛着や誇りを感じてもらえるような、活気溢れる街づくりを目指しています。



取材/二松学舎大学3年 佐々木洪大
大妻女子大学3年 越森あや乃

継続はエコなり

三菱UFJニコス株式会社

「MUFGカード」は、カード素材にPET-G素材(焼却時に塩素ガスが出ない)、入会申込書にはFSC(森林管理協議会)認定紙を使用しています。取材させていただくまで、クレジットカードというものからエコにつながるイメージがあまり浮かばなかったのですが、一貫して環境への配慮がなされている点が印象的でした。

社内では、電力使用量とOA紙使用量を数値化・共有したり、リユースコーナーを設置して分別を徹底するなどして、一人ひとりの環境に対する意識を高めていました。またMUFGグループ共同では、熊野古道の道普請や白神山地周辺での育樹等、環境保全ボランティアにも毎年取り組んでいるそうです。

これらの継続的な活動が環境への理解を深め、会社の方針でもある「持続可能な環境・社会の実現」へ繋がっていくのだと思いました。



▶MUFGカード ゴールド

こんな会社です

1951年に設立。2007年に三菱UFJニコスと改め、三菱UFJフィナンシャル・グループの中核会社として、時代に沿った“決済”のニーズに応え、クレジットシステムを提供しています。グローバルな視点からキャッシュレスの時代を見据え、他の企業からも業務を受託するなど、幅広いビジネスを展開しています。



取材/大妻女子大学3年 根岸亜希菜

私たちが取材しました！

今回取材に協力していただいた、区内大学に在籍する大学生です。

越森あや乃

大妻女子大学
家政学部
甲野ゼミ3年



今回、セミナーの先生の紹介でこの活動を知りました。そこで私が特に感じたことは、企業の方にインタビューをしに伺う際、事前に調べることで、企業のことを知る機会がもてたこと。また直接お話を伺えたことで、それぞれの企業ごとに、環境に配慮された取り組みを行っていることに知れたこと。これらは、この活動をしたからこそ知れたことです。なので、挑戦してみて正解でした。

佐々木 洸大

二松学舎大学
国際政治経済学部
3年



今回この活動を通して、普段の学生生活では体験できないような体験をさせてもらい、自分自身の興味のある企業や様々な企業に訪問をさせてもらい、エコという言葉の重要性を再認識しました。自分自身の普段の生活も少し意識を変えていけばエコな活動につながるということを活動を通じ再認識できました。自分自身が社会に出たときにこの経験を生かしていきたいと思いました。

山田 綾姫

日本大学経済学部
金融公共経済学科
1年



私は、企業のCSR活動がどのようなものなのか興味を持ち、この企画に参加させていただきました。企業訪問では、緊張しすぎたが社会人としての言葉遣いやマナーを実際に体験できたことはとても良かったです。取材したことを記事にまとめるのは大変でしたが、やり遂げた充実感があり、この企画に参加させていただいて学んだ多くのことを今後に生かしたいと思います。

江部 里奈

大妻女子大学
家政学部
甲野ゼミ3年



今回、CSRや企業が行う環境教育について興味があり参加しました。訪問させていただいた企業ではそれぞれ、環境に対して課題を見つけ、活動をされているということが分かりました。そして、ますます、環境配慮行動は不可欠なものであると改めて考え直すきっかけになりました。直接、企業の方からお話を伺うという大変貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

古島 響

大妻女子大学
家政学部
甲野ゼミ3年



企業が実施している環境配慮行動について詳しく知らなかったのが今回参加させて頂きました。取材に伺う度に、それぞれの企業がこだわりを持った環境活動を行っていることが分かり、今や企業が環境のことを考えるのは当たり前なことなのだと感じました。また、企業の方々から直接お話を聞くという貴重な経験をさせて頂き、嬉しく思います。ありがとうございました。

根岸亜希菜

大妻女子大学
家政学部
甲野ゼミ3年



就職活動を控え、今の日本の企業では環境に對しどのような取り組みがなされているのだろうという素朴な疑問から、エコという観点で企業訪問ができるこの企画に参加しました。実際に企業を訪問し、様々な取り組みを知れたことで、持続可能な社会に向けて徐々に歩み始めているのだと感じました。御仕事恵呼化見本誌の制作に携われたことは、今の私にとって大変貴重な経験になりました。

吉澤このみ

大妻女子大学
家政学部
甲野ゼミ3年



直接企業を訪問し取材を行うという機会はなかなかないものなので、本当に貴重な経験となりました。事前に自分が調べていることと、実際に話を聞くことでは捉え方が違っていたり、期待を超える活動ばかりで、環境活動の幅広さに驚きました。企業から学ぶ環境活動だけでなく、直接話を聞くということの大切さも改めて感じることができました。この経験を就職活動で活かしていきたいです。

edo columns

江戸のエコに学ぶ～④～

稲わらのリサイクル！

米を脱穀したあとに残る稲わらは、米 100 キロあたり約 85 キロとまれていました。稲わらはそのまま捨てられるわけではなく、50%が肥料に、20%が日用品に、30%が燃料になりました。例えば日用品では、履物や編傘などが作られていました。このように、稲わらは様々な役割を果たしており、無駄なく利用され循環していたことがわかります。資源を再利用している時代だったと言えます。(佐々木)

▶米の副産物として、稲わらは大量に生産されました
『蘭館全書』(1896)より 国立国会図書館蔵





地球温暖化対策

ビル設備改善から アプローチ



ここがキーポイント!!



エネルギー供給事業者2社に聞きました。

この冊子では、各事業所が実施している環境配慮行動に焦点をあて、取組みを紹介していますが、この特集ページでは、ビル設備を改善するなどハード面から取り組める地球温暖化対策について、お話を伺いました。

TEPCO

東京電力グループ 事業内容

- 水力発電等による電力の販売、原子力発電等
- 燃料・火力発電事業
- 一般送配電事業
- 小売電気事業・ガス事業等

アドバイスいただいた方



東京電力ホールディングス株式会社
技術・環境戦略ユニット
環境室（環境リレーション担当）
佐々木 緑さん



東京電力ホールディングス株式会社
ビジネスソリューション・カンパニー
総務サービスセンター
環境管理支援グループ
齋藤 香往里さん

TOKYO GAS

東京ガスグループ 事業内容

- 都市ガスの製造・供給および販売
- 電気の製造・供給および販売
- 海外における上流事業、中下流事業
- エンジニアリングソリューション事業、
リキッドガス事業、LNG販売、ガス器具、
ガス工事、建設
- 土地および建物の賃貸・管理
- 情報処理サービス事業、船舶事業、
クレジット・リース事業

アドバイスいただいた方



東京ガス株式会社
中央支店 副支店長
村上 恵子さん



東京ガス株式会社
中央支店 地域広報グループ
渡部 英恵さん

地球温暖化対策として、太陽光や水力、風力、地熱などの再生可能エネルギーを使う発電方式が注目されています。貴社では現在、どのような発電をされているのでしょうか。



東京電力グループ

1 自社として、水力、太陽光、風力による発電を運営しています。



水力発電
987万kW
国内：164発電所

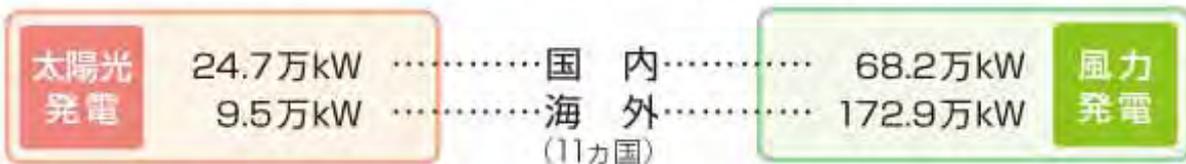


太陽光発電
3万kW
浮島：約7,000kW
鹿島：約13,000kW
米倉山：約10,000kW



風力発電
1.8万kW
東伊豆：約1,670kW
(計11基)

2 東京電力グループとして、再生可能エネルギー開発を進めています。
●豊田通商(株)との合併会社(株)ユーラスエナジーホールディングスでの開発案件例。



東京ガスグループ

1 袖ヶ浦LNG(液化天然ガス)基地にある出力1,990kWの風力発電設備で風力発電事業をしています。



袖ヶ浦風力発電

2 各地の再生可能エネルギー発電事業に参画しています。
●庄内風力発電(株)の風力発電事業参画。
●自然電力(株)の太陽光発電事業に参画。

3 2020年代前半に、再生可能エネルギー電源40万kWの獲得をめざしています。



遊佐風力発電所

CO₂削減のためには再生可能エネルギーによる発電にシフトしていく必要がありますが、実情としてはまだまだ火力発電に頼らざるを得ません。
火力発電では、どのような最新技術がありますか。



東京電力グループ

世界最高水準の熱効率(*)であるコンバインドサイクル発電(MACCII)を導入しています。(東京電力フュエル&パワー 川崎火力発電所にて導入)

コンバインドサイクル発電は、圧縮した空気の中で燃料を燃やし、燃焼ガスを発生させ、その膨張力を利用して発電機をまわすガスタービン発電と、その発電で発生した排ガスの余熱を回収して蒸気タービンを回す汽力発電を組み合わせた発電方式です。川崎火力発電所に導入されたMACCIIは、世界でもトップクラスの約61%という高い熱効率を実現しています。



東京電力フュエル&パワー 川崎火力発電所・川崎2号系列

*熱効率とは、使用した化石燃料のエネルギーのうち、どのくらい電気エネルギーに変換できたかを示すものです。

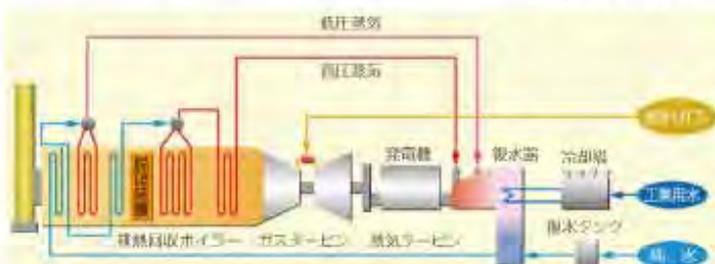
東京ガスグループ

最新鋭のガスタービンコンバインドサイクル発電、4社合計7基が運転中です。

ガスタービンコンバインドサイクル発電は、LNG(液化天然ガス)を燃焼させてガスタービンを回して発電し、ガスタービンで発生した熱で水を水蒸気に変え、この水蒸気を使って蒸気タービンを回して発電するしくみです。7基はいずれも発電効率50%~58%と、水蒸気のみを使って発電する従来型の効率(約40%)を大きく上回っています。



東京ガスベイパワー



これまでは発電のことを伺いましたが、ここからはビルの省エネルギーの工夫について伺います。まず、貴社がオフィスなどで重点的に取り組まれている省エネルギー活動について教えてください。



東京電力グループ

- 1 蓄熱式空調システムを利用しています。**

蓄熱式空調システムは、夜間の割安な電気を利用して、冷房時は冷水や水、暖房時は温水を蓄熱槽に蓄え、その蓄えた熱エネルギーを昼間に使う経済的なシステムです。また、蓄熱層の水は、火災時の消火用水、非常時の生活用水にも利用でき、地域防災の重要な役割を担っています。
- 2 省エネ設備、照明・空調機器の効率化をしています。**
- 3 外気温などに応じて、空調時間・期間を適正に管理しています。**
- 4 クールビズ・ウォームビズを実施しています。**

昼休み時間の消灯をしています。



昼休みの様子

東京ガスグループ

- 1 ガスコージェネレーションシステムを利用しています。**

東京ガス浜松町本社ビルではガスコージェネレーションシステムを1984年から導入し、早期に省エネルギーへの取組みを実施してきました。さらに、2008年度には最新のガスコージェネへのリニューアルを行い、浜松町本社ビルのCO₂排出に対し、年間約1,400トンの削減に貢献しました。
- 2 省エネ設備、照明・空調機器の効率化をしています。**
- 3 CO₂濃度に応じて、外気導入量を調整したり、照度や湿度、室温を適正に管理しています。**
- 4 エネルギー使用状況の「見える化」を実施しています。**

東京ガス浜松町本社ビルをはじめいくつかのビルで、電力使用実績などをディスプレイに表示することで、省エネ意識を高めています。



浜松町本社ビルのデジタル掲示板

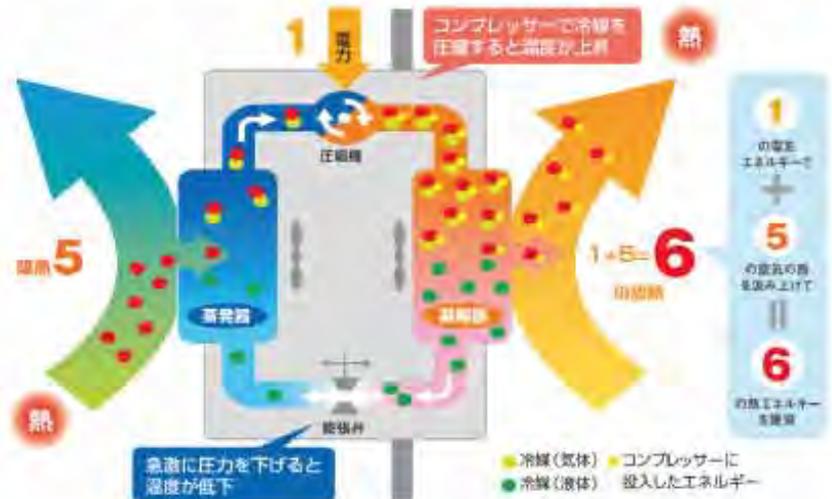
千代田区内のさまざまな事業所に、効率的なエネルギー利用の提案をされていると思います。特におすすめの省エネシステムは何でしょうか。



なんといってもヒートポンプです。

1の電気で熱エネルギーはなんと6倍以上!

ヒートポンプは、太陽光発電や太陽熱温水器と同様、太陽エネルギーを利用したシステムで、ガスや石油による燃焼方式に比べ、CO₂排出削減を実現する技術として注目を集めており、日本でもEU同様に再生可能エネルギーに位置づけられています(※)。気体を圧縮すると温度が上がり、膨張させると温度が下がる性質を利用した技術であるヒートポンプの中では、熱を運ぶ役割をする冷媒(二酸化炭素など)が、温度の上昇と低下を繰り返しながら循環しています。温度条件にもよりますが、ヒートポンプを利用することで、電気エネルギー1に対して最大6のエネルギーを獲得することも可能です。



※ヒートポンプにより有効利用された空気熱のことを指します。

ガスコージェネレーションシステムです。

総合効率はなんと78.5%もあります!

ガスコージェネレーションシステム(コージェネ)は、クリーンな都市ガスを燃料に用いて、必要な場所で電気をつくり、発電時に発生する熱を冷房・暖房・給湯・蒸気などに有効利用する総合効率の高いシステムです。廃熱を使用するため、省エネ・省コストを実現、従来システムに比べてCO₂排出量を約1/3削減できます。また、停電時に外部電源から独立して稼働する停電時対応型コージェネを導入することで、電源の多重化が実現でき、災害時等の電源セキュリティの向上が図れます。



ビルの新築や改築は設備を大幅に変えるチャンスです。エネルギー利用面から、設備改善に向けての有効なサービスがあれば教えてください。

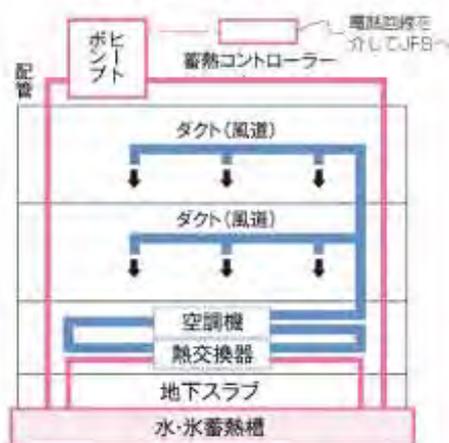


1 「蓄熱受託サービス」が有効です。

前ページの「ヒートポンプ」を活用し省エネルギー性に優れた蓄熱式空調システムを設置し、遠隔監視によって効率的・経済的に運転するサービスです。以下のような特徴があります。

- 関連会社のJFS(日本ファシリティ・ソリューション株)が、ビルの特性を生かしたシステムを提案します。
- ヒートポンプや蓄熱槽などの設置にかかる初期投資負担が削減できます。
- JFSが運転・メンテナンスを行うため、お客さまの手間が軽減できます。
- JFSの24時間365日の遠隔監視により、最適な運転を実現します。

〈水・氷蓄熱システムの場合〉



この部分がJFSの責任範囲です。
※躯体部分は除く

2 デマンドコントローラーの導入も効果があります。

デマンドコントローラーとは、設定された最大電力(契約電力等)の超過を予測すると抑制制御を行い、設定最大電力を超えないよう調整を行うシステムです。

「スマートマルチ & エネシンフォ」が有効です。

ガス式ヒートポンプ (GHP) と電気式ヒートポンプ (EHP) を組み合わせたハイブリッド空調「スマートマルチ」を、クラウド制御サービス「エネシンフォ」で遠隔制御するシステムです。「エネシンフォ」は、最適制御・フルメンテナンス・見える化を提供するワンストップサービスです。

- 電力ピーク時でも快適性を損なわず、ガス空調で契約電力を大幅に削減します。
- 使用状況に合わせた、ガス空調と電気空調のいいとこ取りで、高効率運転・省コストを実現します。
- 時々のガス・電気料金を勘案した自動制御により、エネルギーコストの変動リスクを回避します。



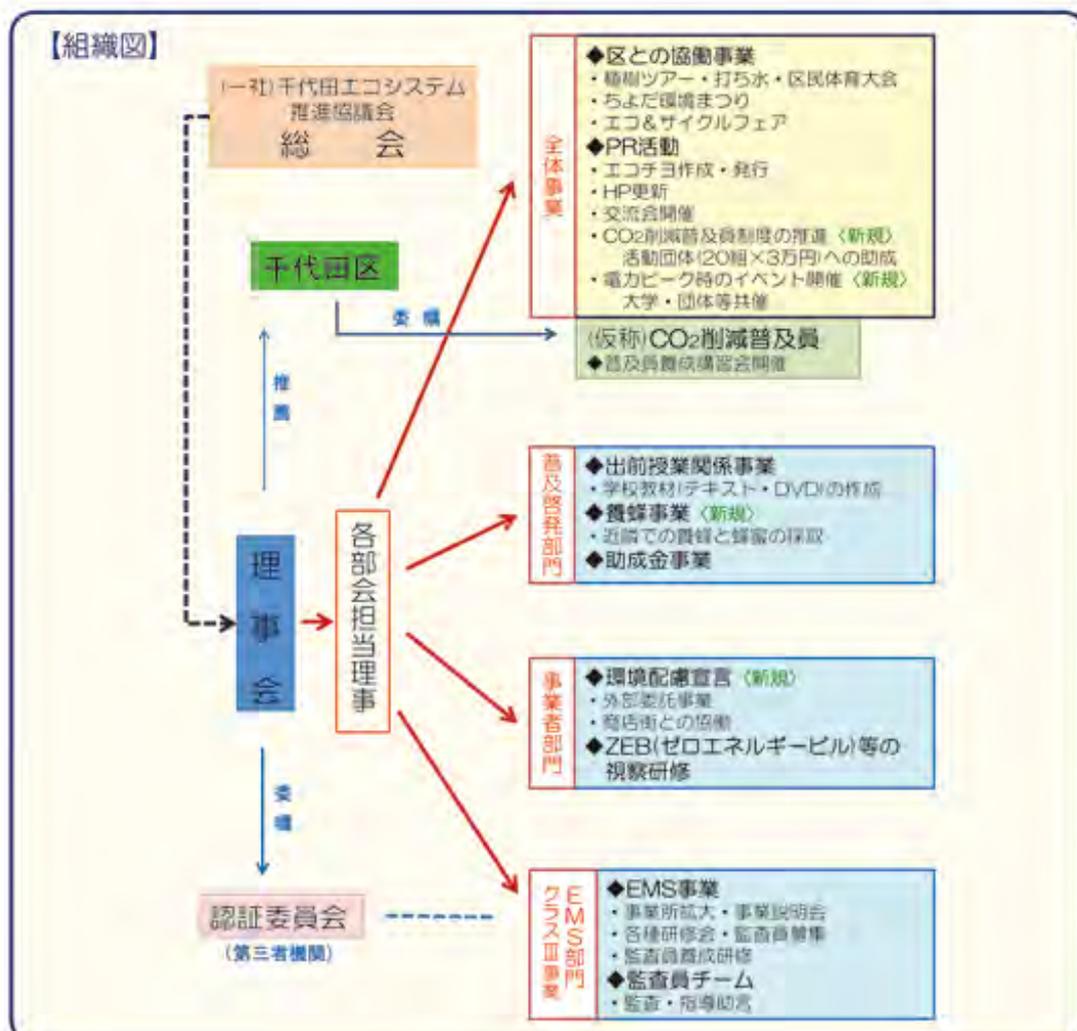
GHP: ガスエンジン・ヒートポンプ・エアコン
EHP: 電気モーター・ヒートポンプ・エアコン

一般社団法人 千代田エコシステム推進協議会 のご紹介

環境マネジメントシステム「千代田エコシステム（CES）」は、千代田区地球温暖化対策条例第13条の規定に基づき、千代田区が独自に構築したものです。これを通じて、区民・企業・教育機関・行政などが協働して、地球温暖化対策や地域の環境改善を推進する目的で、平成20年4月に任意団体「千代田エコシステム推進協議会」が設立されました。その後、より活動範囲を広げるため、法人格を取得し、平成28年4月「一般社団法人 千代田エコシステム推進協議会」となりました。

当協議会では、千代田区の区民、企業、教育機関、行政などが協働し、「千代田エコシステム（CES）」等環境マネジメントシステムの普及、推進を行い、地球温暖化対策や地域の環境改善に寄与することを目的として、以下のような事業を行ってまいります。

- ❶ 地球環境の保全または自然環境の保護及び整備を目的とする事業
- ❷ 千代田エコシステム等環境マネジメントシステムの運用及び推進
- ❸ 環境教育等による人材育成
- ❹ その他地球温暖化対策に寄与する事業 など



千代田エコシステムクラスⅢ (監査・認証) 導入について



監査・認証制度の概要

国際規格 ISO14001 の認証には、時間とお金がかかるのに対し、千代田区が定めた環境マネジメントシステム「千代田エコシステム (CES)」のクラスⅢでは、簡易で安価に運用でき、各事業所が独自で企画・運用するより信頼性が高まります。

指導助言を受けながら行動計画などを作成し、Plan(計画)Do(実施)Check(評価)Act(見直し)しながら (PDCA サイクル) 導入し、年に 1 回、監査員による監査及び認証委員会 (第三者機関) による認証を受けることで、よりよい環境配慮行動へつなげることができます。



導入のメリット

- ① 環境意識の向上
- ② イメージの向上
- ③ 業務の効率化とコスト削減
- ④ 千代田区商工融資あっせん制度の利用可能 (利子補給率の優遇)
- ⑤ 千代田区低炭素建築物助成制度の利用可能 (環境付加価値の高い低炭素建物を建築する際の助成制度)
- ⑥ 契約条件にかかる「千代田区施行能力・地域貢献等審査型総合評価方式」による加点



費用

● 監査

監査料	* 40,000 円～180,000 円/回 (180 分)
-----	--------------------------------

- 監査は原則として年一回実施します。
- 監査の結果「不適合」となった場合には、再監査が必要です。
- 再監査となった場合、再監査 1 回ごとに別途、上記の監査料がかかります。
- * 監査料は、監査対象のサイト数と所属人数により、お見積りいたします。

● 指導助言

導入時基本料金	60,000 円 (180 分×3 コマ)
---------	-----------------------

指導助言の具体的内容

第 1 回	クラスⅢ 導入の流れ説明、各種帳票作成指導 (180 分)
第 2 回	運用状況の確認、CES 活動報告書作成指導 (180 分)
第 3 回	CES 活動報告書確認 (180 分)

任意オプション*	20,000 円/回 (180 分)
----------	--------------------

* 導入時指導助言 (基本料金分・全 3 回) のほかに、別途 指導助言が必要な場合、1 回ごとにこちらの指導助言料がかかります。

お問い合わせは、裏面の (一社) 千代田エコシステム推進協議会までお願い致します。

(一社)千代田エコシステム推進協議会の活動に参加してCO₂削減に取り組みませんか?



(一社)千代田エコシステム推進協議会では、区に関わる人や組織が取り組みやすい環境マネジメントシステム「千代田エコシステム (CES)」を普及・啓発しています。 で検索!

参加する

CO₂削減について学び、考えていただくための各種イベントや講座に参加する

登録会員になって情報を受け取る。

※登録会員の会費は無料です。

メールまたはFAXにてご案内をお送りします。お名前・ご住所・ご連絡先(メールアドレスまたはFAX番号)を明記の上、下記までご連絡ください。

■メール: info@chiyoda-ces.jp
■FAX: 03-3221-3405

クラスⅢを導入する

千代田区独自の環境マネジメントシステム(クラスⅢ)へ参加し、監査と認証を受ける

ISO14001よりも安価で簡易に運用できる環境マネジメントシステムです。お見積り等、お気軽にご相談ください!

■ TEL: 03-5211-5085
■ mail: info@chiyoda-ces.jp

詳しくは、P.31を参照してください。

会員になる

(一社)千代田エコシステム推進協議会の活動を支え、一緒に運営する会員になる

会員募集中です!

区分	正会員	賛助会員
教育機関	60,000円	30,000円
企業(資本金1億円以上)	60,000円	30,000円
企業(資本金1億円未満)	20,000円	10,000円
上記以外の団体	10,000円	5,000円
個人	2,000円	1,000円

■ 会員 (2018年1月時点、敬称略・順不同)

■ 企業 三菱地所株式会社、株式会社大塚商会、東京電力パワーグリッド株式会社銀座支社、東京ガス株式会社中央支店、東洋美術印刷株式会社、株式会社東畑建築事務所、前田建設工業株式会社、株式会社小学館集英社プロダクション、エコビープル支援協議会、徳和FPカレント **■ 教育機関** 学校法人日本歯科大学、学校法人法政大学、学校法人専修大学、学校法人明治大学、学校法人大妻学院、学校法人二松学舎、学校法人東京家政学院 **■ 団体** 東京商工会議所千代田支部、千代田区商店街連合会、千代田区連合町会長協議会、公益財団法人まちみらい千代田、NPO法人エコスクール推進協議会、2×3スリーレッグ、千代田区商店街振興組合連合会、神田駅西口商店街振興組合、ちよだ@森の配達人、千代田区 **■ 個人** 61名

(一社)千代田エコシステム推進協議会 TEL: 03-5211-5085 FAX: 03-3221-3405
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1 千代田区役所5階 mail: info@chiyoda-ces.jp

本冊子へのご意見
ご感想はこちらまで
お寄せください

千代田区環境まちづくり部環境政策課
住 所: 〒102-8688 千代田区九段南1-2-1 千代田区役所5階
電 話: 03-5211-4253(事業推進係) FAX: 03-3264-8956
メール: kankyouseisaku@city.chiyoda.lg.jp

